

# 第7回木曾川水系連絡導水路環境検討会 議事要旨

日 時：平成21年5月15日(金)

13:30～16:30

場 所：岐阜グランパレホテル

## 1. 開会

## 2. 主催者挨拶

## 3. 議事

### (1) 報告事項

#### 1) 第6回環境検討会議事録

#### 2) 連絡導水路事業の状況について

- ① 第6回環境検討会議事録及び連絡導水路事業の状況について報告を受け、その内容を確認し、了承した。

### (2) 本日の説明事項

#### 1) 第6回環境検討会における意見への対応状況

- ① 第6回環境検討会における意見への対応状況について報告を受け、その内容を確認し、了承した。

#### 2) ワーキンググループでの検討状況

- ① 陸域環境ワーキンググループ(平成21年4月15日開催)及び水域環境ワーキンググループ(平成21年4月17日開催)における検討状況について報告を受け、その内容を確認した。

### 3) 調査・検討の実施状況

- ① 第2回木曾川水系連絡導水路事業監理検討会(平成21年5月7日開催)での確認事項である「通常時は長良川に導水せず直接木曾川へ導水し、異常渇水時の緊急水の補給時に限り長良川へ補給する案」について説明を受け、現計画に加えて環境影響検討を行うこと、予測には現在のシミュレーションモデルを適用することを了承した。

- ②調査・検討の実施状況について審議し、以下の点を指摘した。
- ・ 大気環境や水環境の予測・評価については、前提条件等を明記すること。
  - ・ 水環境のシミュレーションについては、現況の再現性を確認し、出水時等のデータを加味するなど、予測精度の向上に努めること。
  - ・ 動物(哺乳類)で、ユビナガコウモリ、ハタネズミ及びカヤネズミについては、移動性についても考慮した表現とすること。
  - ・ 動物(陸上昆虫類)で、ミヤマチャバネセセリ及びミイロムネビロオオキノコムシについては、調査地域を主要な生息環境にしているかを確認し、それを考慮した表現とすること。
  - ・ 植物の環境保全措置である移植については、マニュアルに表面的に対応するのではなく、生育実態をよく検討し、移植先の攪乱の問題にも慎重に対応すること。
  - ・ 植栽樹種の選定に当たっては、郷土種(在来種)を用いるように配慮すること、また、森林伐開の影響を最小化するため、林縁部を保護するソデ群落・マント群落の早期形成を図ること等を検討すること。

#### 4) その他

- ①岐阜県から出されている、「環境レポート(検討項目・手法編)」に対する追加意見について、報告を受けた。

#### (3) 今後の予定

- ①次回環境検討会は、調査・検討の進捗状況を踏まえて、適切な段階で行うこととした。

#### (4) 審議内容の確認

- ①本日の審議について、議事要旨を確認した。

#### 4. 閉会

以 上